

新高通信



第 3 3 号

秋田県立新屋高等学校

新年度のスタートにあたって

校長 高 安 暢

平成25年度も2ヶ月程が経過しましたが、新屋高校としては、大体順調なスタートが切れたものと思っています。

時期的に今は、運動部を中心とした部活動の活躍に期待が高まりますが、昨年度以上に一つでも多くの部から全国大会に出場してもらいたいと思います。ところで、今年のインターハイの大会愛称は、「2013 未来をつなぐ 北部九州総体」で、スローガン「吹きわたれ 若人の風 北部九州へ」のもと、大分・福岡・佐賀・長崎の4県で開催されます。北部九州に新屋の風が吹きわたることを期待します。

さて、今年は本校創立30年目という節目の年を迎えました。関連の記念事業などは来年度の実施となりますが、今年度においても、生徒・職員一丸となって進路面や部活動ばかりでなく、学校教育活動の様々な分野において、本校の30周年を盛り上げていきたいと思っています。関係各位のより一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。



平成25年度 第30回 ～入学式～



4月8日(月)午後1時30分、本校第一体育館において創立30年目の入学式が挙行され、希望に胸をふくらませた新入生200名を迎えました。

「節目節目において目標を立てること、進取の気概を持つこと、人と人とのつながりを大切にするものの3点に積極的に取り組み、高校時代の限られた時間を有意義に過ごしてほしい」という校長式辞のあと、新入生を代表して佐貫百合奈さんが「それぞれの目指す未来に向けて、何事に対しても真剣に取り組んでいこうと思います。」と誓いの言葉を述べました。

PTA総会・学校後援会総会

4月25日(水)午後3時より、本校第一体育館において、77名の保護者の皆様の出席のもと、平成25年度PTA総会と学校後援会総会が開催されました。

肌寒い天候の中、特に1学年の保護者の方々に多数出席いただきました。昨年度の決算報告に続き、今年度の事業計画と予算案が拍手で承認されるとともに、新役員が決定し、学校運営における新しい協力体制が整いました。

総会に先立ち、授業参観と吹奏楽部演奏会も開催され、来校された保護者の皆さまには校内における生徒達の表情を感じ取っていただくことができました。



生徒指導の基本方針 生徒指導主事 川村 寿紀

自律的態度と基本的生活習慣の確立を目的とし、生徒1人ひとりが新屋高校生の生徒としての誇りと自覚を持ち、節度ある行動をすることを身につけさせるために

- ① マナーアップ指導の徹底(身だしなみを整える・あいさつの励行)
- ② 非行、事故の未然防止と、問題行動発生時の適切な対応
- ③ 学年部・教育相談部・地域・家庭との密接な連携

といった3つの項目を具体的指導として力を入れていきたいと思っています。御理解と御協力をお願い致します。

今後の主な行事

5月31日(金)～6月4日(火)
6月28日(金)～29日(土)

全県高校総体(サッカー・陸上は24日から)
新 高 祭 (一般公開は29日)
テーマ LEGEND ～紡ごうキセキの物語～
テーマ曲 カタルリスム/OLDCODEX

「世の中に目を向け、目標を立て、努力しよう」 進路指導主事 石井 啓之

4月に実施した進路志望調査の結果がまとまりました。各学年とも、進学希望者の割合が8～9割程度と多く、就職希望者が1～2割程度という結果です。また、特に1、2年生では進学とは決めている校種（4年制大学、短大、専門学校など）、具体的に進みたい分野（学部・学科）、学校が明確でない生徒や、就職を考えていても希望する具体的な仕事の種類などをまだ考えていない生徒が少なくないことも覗えます。

今年度の『進路の手引き（第28号）』の卒業生による「体験アドバイス」では、それぞれの進路を志望したきっかけや志望を達成するための努力が述べられていますが、その中で「冤罪事件のニュースを見て法学部を目指すことにした」とか、「東日本大震災での不眠不休の活動ぶりに心を打たれて警察官を目指した」など、世の中の動きに触発されて志望を明確にしていた卒業生の言葉が目を引きまします。生徒の皆さんは日々の学習や部活動などで忙しい毎日を送っていますが、身の回りの日常を越えて広い世の中に目を向け、社会のことをじっくり考えることが、職業も含めた将来の目標に具体的な形を与えることにつながるのではないのでしょうか。新聞記事やニュース番組を見る、1、2年生からでもオープンキャンパスに参加する、親戚や知り合いの大人から職業に関して話を聞くなど、外の世界に目を向けることが自身の将来を考える貴重な契機になると思います。保護者の皆様におかれましては、ご家庭で社会の動きとも絡めて進路について本人とじっくり話し合われるようお願いいたします。その際、本人の希望だけでなく、適性や能力、経済的条件、就職の現状など本人の気づかない点にも踏み込んで道筋を示していただきたいと思います。

少子化が進む中、社会のあらゆる場で後継者が求められていますが、同時に厳しい経済情勢の中、目標に向かってしっかりと努力を継続できる若者を選ぶ傾向が一層強まっています。生徒の皆さんは、目標を立てるとともに、日々の時間の使い方、学習や部活動への取り組み、進路情報の収集など自らの活動を見直し、改善を図ってください。

4月進路志望	合 計	国公大	私 大	短 大	専門校	進学未定	民 間	公務員	就職未定	全く未定
1 年 生	200	48	11	11	36	68	2	5	9	10
2 年 生	200	85	24	14	49	17	2	5	3	1
3 年 生	197	55	36	21	40	10	22	10	3	0

ももさだ講演会



5月2日（木）6・7校時に秋田赤十字病院臨床心理士丸山真理子先生をお招きし、平成25年度「ももさだ講演会」が行われました。「こころの健康を保つコツ」と題して、コミュニケーションの3要素、問題を解決するコツ、生きる力をつけるための課題など、日頃から抱える悩みに高校生がどのように向き合ったらよいかという具体的な内容のお話をいただきました。

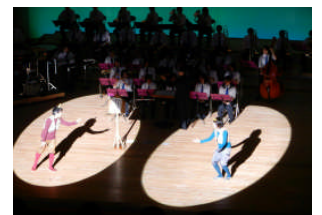
特に進路決定を間近に控えた3年生からは、丸山先生のお話の中には自分に当てはまることが多く、中でもストレスと上手く付き合っていくことが大切だということを実践しながら今後の学校生活を送りたいという感想が多数ありました。

♪ 吹奏楽部フレッシュコンサート ♪



5月18日（土）午後1時30分より、秋田県民会館において吹奏楽部の第23回フレッシュコンサートが開催されました。

第1部クラシックステージ、第2部ポップスステージの2部構成で、迫力の演奏、切れのよい演奏、重厚な演奏、そして合唱部かと思えば素晴らしいハーモニーの合唱も聴かせてもらいました。また、第2部の音楽劇「泣いた赤おに」に、観客の皆さんも感動の涙を流すなど、存分に新屋高校吹奏楽部の魅力を感じることができました。



各部の活躍

バドミントン：国体記念春季高校バドミントン選手権大会
 女子シングルス 第1位佐藤結花
 女子ダブルス 第2位佐々木許紀恵・佐藤結花
 ：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体
 女子学校対抗 第3位
 女子シングルス 第2位佐藤結花
 女子シングルス 第3位佐々木許紀恵
 女子ダブルス 第3位佐々木許紀恵・佐藤結花
 ソフトボール：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体
 女子団体 第3位

弓 道：春季秋田県弓道大会
 女子団体 第3位
 女子個人 第2位細谷愛生
 ：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体
 女子個人 第1位奥山ほのか
 サ ッ カ -：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体 第3位
 男 子 バ レ -：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体 第4位
 男 子 テ ニ ス：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体
 男子学校対抗 第3位
 女子バスケット：秋田県高等学校体育連盟中央支部総体 第4位